掛けた。施工にあたった

受賞した同施設は20

家最高峰の賞に

複雑な形状の屋根が特徴の施設

ザインパートナーズが手 設計は横浜市のオンデ 建設(相模原市中央区)。 のは中小ゼネコンの谷津

会賞2016の作品選奨を受賞した。建設業と製造業のコラボで難工事を克 ットハウス」が、国内の建築家に与えられる最高峰の賞とされる日本建築学

「驚くほどの施工精度で自由曲面が実現されている」と評された。

東京

工業部会と建設業部会の企業が手を組み、完成させた「江ノ島・湘南港ヨ

五輪でセーリング競技のメイン会場として期待される。

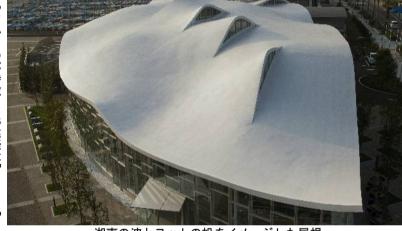
上2階建て。2000平 は、湘南の美しい波とヨ方メートルを超える屋根 基調にしたデザインで地 14年4月に完成。白を た。複雑な3次元曲線で の帆をイメージし

難航な工事を予想してい 初、曲線の再現が難しく、受注した谷津建設は当 た。

旧ヨットハウスの老朽化 だ。仕上がっているのが特徴 の東京五輪会場となった に伴う建て替え工事だっ もともと、 1964年

2次元。そこで、工業部 立体図を用いて工事する の世界。つまり平面図とた。建築は「X」と「Y」 ―、湘南デザイン(同市会所属のの試作メーカ

ことで、日本の技術力を 世界中が施設を目にする 松岡社長は「東京五輪で一方、湘南デザインの いる。 っていきたい」と話して



湘南の波とヨットの帆をイメージした屋根

設業の新しい可能性を探業とのコラボを進め、建は「今後もモノづくり企 げた。 生かせるとの可能性を見得意技術が建築分野にも 方、製造業にとっても、ルの確立につなげた。| とも呼べる新しいスタイ 術と建築技術を融合させ となった。同施設の完成 難工事克服の大きな武器 によって、モノづくり技 いだした。 た、いわば 谷津建設の谷津弘社長 い「モデリング」 100分の1という美 "3 D 建築_{*}

正面から見た湘南港ヨットハウス

プロジェクトとKIZU

NAプロジェクト。

の午後6時半から、 的とした「会員交流大会 垣根を越えた交流を持っ 産業会館で開かれる。 ネットワークづくりを目 相模原の工業人たちに 工業部会会員の情報や 」が7月26日

会員交流大会を開催 7月26日に産業会館

地元のネットワーク作りに

課・高井042(753) 問い合わせは産業振興円。ただし講演は無料。 工学部・経営システムエ当日は青山学院大学理 0」がテーマ。 演は「インダストリー 学科の松本俊之教授によ イツの実態を報告する。 る講演も行われる。 参加費は一人2000 本場のド 同講

動に参加・ スだけでなく趣味や生活 テーマについて参加者と 初めての会員の参加を歓 と企画された。今回で6動の活性化につなげよう の話題なども話せる。 話せる「もっと交流シー 迎。それぞれ関心がある ト」を活用する。 ビジネ てもらうことで、 主催は工業部会GET これまで工業部会の活 したことがな 部会活

5年後の未来を見に行る

新規会員募集中

近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会

湘南デザインと谷津建

(発行) かながわ経済新聞合同会社 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 商工会館本館 1階 ※プリントしてご自由にお



使って、建築模型を仕い「3Dプリンター」

建築模型を仕上りプリンター」を

設業界では普及していな緑区)と異業種連携。建

読みください。